

平成28年度大学院教育学院修士課程第2次入学試験問題

生徒指導論

(250点満点)

以下の問題のすべてに答えなさい。

問題1

社会全体が学校的価値で制度化されてしまっていることを問題とする考え方や、日本の学校が多様な役割を抱え込みすぎているのでもっと社会で教育を担うことで学校をスリム化すべきであるといった考えがある。これに対して、教育をより広く社会によって行なうことは教育の市場化を招くとする考え方や、学力低下を招いたゆとり教育を批判して子どもがグローバル化社会で生きていく力を高めるためにはもっと学校教育を拡充していく必要があるという考え方がある。こうした対立する2つの立場を前にして、あなたはいかなる考えに立つか、またその根拠について述べなさい。

問題2 次の語句のなかからひとつを選んで説明しなさい。選択した語句の番号を明記のこと。

1. 「特別の教科 道徳」
2. 「割れ窓理論」
3. 特性・因子論 (J.L.ホランドのもの)

問題3 今日の高等学校が抱える進路指導やキャリア教育の問題点は多い。回答者の考える問題点を記述した上で、それが問題である理由、そして問題解決の方途あるいは解決の方途が簡単には見えない場合には糸口を発見するために何が必要であるかについて、自分の考えを述べなさい。

平成 28 年度大学院教育学院修士課程第 2 次入学試験問題

教育行政学

(250 点満点)

以下の問題 1 ~ 3 に答えなさい。

問題 1 社会全体が学校的価値で制度化されてしまっていることを問題とする考え方や、日本の学校が多様な役割を抱え込みすぎているのでもっと社会で教育を担うことで学校をスリム化すべきであるといった考えがある。これに対して、教育をより広く社会によって行うことは教育の市場化を招くとする考え方や、学力低下を招いたゆとり教育を批判して子どもがグローバル化社会で生きていく力を高めるためにはもっと学校教育を拡充していく必要があるという考え方がある。こうした対立する 2 つの立場を前にして、あなたはいかなる考えに立つか、またその根拠について述べなさい。

問題 2 いじめによる児童・生徒の深刻な被害が生じており、予防や事後の対応のあり方に課題が指摘されている。過去のいじめ問題対策の経過と近年の動向、いじめ防止対策推進法の概要を説明し、同法に関する論点をいくつか取り上げて論じなさい。

問題 3 日本の教育制度に関する以下の 4 つの用語のうち、2 つを選んで説明しなさい（選択した問題番号を明記のこと）。

1. 家庭裁判所
2. 非正規教員
3. 教育委員長
4. 生徒指導におけるゼロトレランス方式

平成28年度大学院教育学院修士課程第2次入学試験問題

学校史

(250点満点)

以下の問題1～3のすべてに答えなさい。

問題1

社会全体が学校的価値で制度化されてしまっていることを問題とする考え方や、日本の学校が多様な役割を抱え込みすぎているのでもっと社会で教育を担うことで学校をスリム化すべきであるといった考えがある。これに対して、教育をより広く社会によって行なうことは教育の市場化を招くとする考え方や、学力低下を招いたゆとり教育を批判して子どもがグローバル化社会で生きていく力を高めるためにはもっと学校教育を拡充していく必要があるという考え方がある。こうした対立する二つの立場を前にして、あなたはいかなる考えに立つか、またその根拠について述べなさい。

問題2 1940年代後半の日本における戦後教育改革について、次の語句10のうち6以上を用いて具体的に説明しなさい。

沖縄、学習指導要領（試案）、教育基本法（旧法）、教育刷新委員会、教育勅語、教員養成の開放制、墨ぬり教科書、単線型、複線型、米国対日教育使節団

問題3 次の語句のなかから二つを選択し、簡潔に説明しなさい。なお選択した語句の番号を明記すること。

1. 『赤い鳥』
2. 往来物
3. パノプティコン
4. 森有礼

平成28年度大学院教育学院修士課程第2次入学試験問題

青年期教育

(250点満点)

以下の問題のすべてに答えなさい。

問題1 資料1は、J.デューイ『民主主義と教育』(岩波文庫、1975年版、原著 "Democracy and Education", 1916) の一部を抜き出したものである。1、2に答えなさい。

1. 筆者が傍線部のように述べるのはなぜか、その理由を説明しなさい。
2. この文章を踏まえて現代における教育の課題を論じなさい。

資料1

問題2 青年期に着目して教育を考察する意義は何か、あなたの考えを述べなさい。

問題3 次の用語・事項の中から2つを選び簡潔に説明しなさい。
(選択したものの番号を明記すること。)

1. 青年期教育の二重制
2. 若者組
3. 青年学級振興法
4. ユースワーク
5. 女性差別撤廃条約

以上

平成28年度大学院教育学院修士課程第2次入学試験問題

高等継続教育

(250点満点)

以下の問題のすべてに答えなさい。

問題1 資料1は、J.デューイ『民主主義と教育』(岩波文庫、1975年版、原著 "Democracy and Education", 1916) の一部を抜き出したものである。1、2に答えなさい。

- 筆者が傍線部のように述べるのはなぜか、その理由を説明しなさい。
- この文章を踏まえて現代における教育の課題を論じなさい。

資料1

問題2 資料2を参考に、高等教育における職業教育の課題について、あなたの考えを述べなさい。

資料2 高等教育進学率

(注)

・このデータには定義上、留学生の入学者が含まれている。

・アメリカのデータは、「大学型」と「非大学型」を合計した数値。

・※印は、「非大学型」について、無視できる程度の数値であるか、分類に当てはまらない国

出典:OECD「Education at a Glance 2014」

問題3 次の語句のなかから二つを選んで説明しなさい。選択した問題番号を明記すること。

1. 近代国家と大学

2. 教養教育と専門教育

3. 大学の経営と財政

4. 奨学金とスカラシップ (scholarship)

平成28年度大学院教育学院修士課程第2次入学試験問題

教育社会学

以下の問題のすべてに答えなさい。

(250点満点)

問題1 持続可能な社会を構築するために必要な教育について考察しなさい。

問題2 日本のメソクラシーの特徴について論じなさい。

問題3 次の語句の中から、2つを選び説明しなさい（選択したものに明記すること）。

- ①トーナメント移動
- ②自己成就的予言
- ③トラッキング
- ④ハビトゥス

平成 28 年度大学院教育学院修士課程第 2 次入学試験問題

教育福祉論

(250 点満点)

問題 1 持続可能な社会を構築するために必要な教育について考察しなさい。

問題 2 19 世紀後半から現在に至る貧困調査について概略を述べよ。その際、それぞれの調査や分析に用いられた基礎的な概念や考え方、調査方法についての説明を含むこと。

問題 3 以下の 4 つのことから 2 つを選んで、それぞれ簡潔に解説した上で、関連する諸問題について論述しなさい。その際、選択した番号を明記すること。

- 1) フェミニズム
- 2) 社会的養護
- 3) 若者の貧困
- 4) ケアと家族

平成 28 年度大学院教育学院修士課程第 2 次入学試験問題

産業教育

(250 点満点)

以下の問題のすべてに答えなさい。

問題 1 持続可能な社会を構築するために必要な教育について考察しなさい。

問題 2 戦後日本の「企業社会」化の展開について、具体的に述べなさい。

問題 3 次の事項の中から 3 つを選んで説明しなさい。選択した番号を解答用紙に明記すること。

- ① 足尾暴動
- ② ショップ制
- ③ オートメーション
- ④ スプートニク・ショック
- ⑤ 非正規雇用

平成28年度大学院教育学院修士課程第2次入学試験問題

職業能力形成論

(250点満点)

以下の問題のすべてに答えなさい。

問題1 持続可能な社会を構築するために必要な教育について考察しなさい。

問題2 労働者派遣制度について説明したうえで、派遣労働者に生じやすい問題を指摘し、その改善策を提示しなさい。

問題3 次の事項のなかから3つを選んで説明しなさい。選択した問題番号を解答用紙に明記すること。

- ① 小さな政府
- ② 内部労働市場
- ③ 日本的雇用慣行
- ④ ダイバーシティ・マネジメント
- ⑤ パートタイマーの基幹化

平成 28 年度大学院教育学院修士課程第 2 次入学試験問題

発達心理学

(250点満点)

以下の問題にすべて答えなさい。

問題 1 生涯発達という観点から、成人期以降の発達過程について論じなさい。

問題 2 以下の 4 つの用語から 3 つを選び、それぞれ簡潔に説明しなさい。回答の際にはいずれの用語を選んだかが分かるように記述すること。

- (1) 社会的視点取得 (social viewpoint acquisition)
- (2) レディネス (readiness)
- (3) 均衡化 (equilibration)
- (4) 時間的展望 (time perspective)

問題 3 第二次反抗期について発達心理学でいわれていることをまとめ、あなたの考え方を論じなさい。

平成 28 年度大学院教育学院修士課程第 2 次入学試験問題

健康教育論 健康科学

(250 点満点)

以下の問題すべてに答えなさい。

問題 1. 現代における健康や体力に関わる問題を一つ取り上げなさい。そして、その問題の解決あるいは解明のためには、どのような研究方法が考えられるかについて述べなさい。

問題 2. 下図は野菜摂取量の平均値（20 歳以上）（性・年齢階級別）である。

図を説明し、問題点を指摘し、解決策についてあなたの考えを述べなさい。

（平成 25 年国民健康・栄養調査結果の概要より）

問題 3. 足浴の効用について、全身浴と比較しながら述べなさい。

平成 28 年度大学院教育学院修士課程第 2 次入学試験問題

体 力 科 学

(250 点満点)

問題 1 現代における健康や体力に関わる問題を一つ取り上げなさい。そして、その問題の解決あるいは解明のためには、どのような研究方法が考えられるかについて述べなさい。

問題 2 身体運動が免疫機能に及ぼす影響について論じなさい。

問題 3 運動習慣の形成に向けて身体運動・スポーツを計画的・持続的に取り組み始めた時、栄養への配慮についてどのような点が重要となるかを論じなさい。

平成 28 年度大学院教育学院修士課程第 2 次入学試験問題

運動生理学

(250点満点)

以下の問題のすべてに答えなさい。

問題 1 現代における健康や体力に関わる問題を一つ取り上げなさい。そして、その問題の解決あるいは解明のためには、どのような研究方法が考えられるかについて述べなさい。

問題 2 運動時の疲労について論じなさい。

問題 3 以下の語句の中から 3つを選んで説明しなさい。選択した語句の番号を明記すること。

1. 運動単位
2. 筋収縮様式
3. 筋ポンプ作用
4. 心拍出量
5. 最大酸素摂取量
6. ホメオスタシス (homeostasis)
7. ボルグスケール (Borg scale)
8. アシドーシス (acidosis)

平成 28 年度大学院教育学院修士課程第 2 次入学試験問題

体 育 社 会 学

(250 点満点)

以下の問題のすべてに答えなさい。

問題 1 量的調査と質的調査という二つの社会調査の手法について、その共通性と差異性を論じなさい。

問題 2 「事実」の考察と「リアリティ」の考察は、どのような違いがあるか。具体例をあげて論じなさい。

問題 3 次の術語を簡潔にすべて説明しなさい

1. 権力
2. ハビトゥス
3. 公共性

平成 28 年度大学院教育学院修士課程第 2 次入学試験問題

身体教育学

(250点満点)

以下の問題のすべてに答えなさい。

問題 1 日本の子どもの約 6 人に 1 人が貧困層であるなど、世界中で子どもの貧困問題が拡大しつつあると言われている。これに関連して、「子どもの貧困問題がなぜ拡大していくのか」「拡大を防ぐために、教育関係者に出来ることは何か」、あなたの考えを述べなさい。

問題 2 スポーツのドーピング問題について、オリンピックや世界大会の舞台で義足の選手が健常者と同じ種目に出場することに対して「道具のドーピングである」という批判がある。このことについて、あなたの考えを述べなさい。

問題 3 体育授業を専門とする体育教師とスポーツ指導を専門とするコーチとでは何が共通し何が異なっているのか。あなたの考えを説明しなさい。

平成28年度大学院教育学院修士課程第2次入学試験問題
(身体運動科学)

(250点満点)

以下の問題のすべてに答えなさい。

問題1 “ナンバ歩き”とは何か、説明しなさい。また、その歩き方の特徴からどのような状況の歩行でその有効性を發揮出来るか、述べなさい。

問題2 コーヒーカップに手を伸ばし、口に持つて来てコーヒーを飲むという動作を例にとり、その行為が成立するための力学的な要因を順序立てて説明しなさい。

問題3 下の写真はおろし金である。

(出典: 藍野裕之「ずっと使いたい和の生活道具」地球丸、2006)

問い合わせ1. このおろし金で大根や生姜をおろす動作は手の動きであるが、そのとき脚部はどのように動き、どのような働きをしているか、述べなさい。

問い合わせ2. 脚は手のように細かい動きは出来ないが手仕事の巧みさには関係していると考えられる。巧みな手の動きを導くための脚の役割りはどのようなものであると考えられるか、述べなさい。

平成28年度大学院教育学院修士課程第2次入学試験問題

多元文化教育論

(250点満点)

以下の問題のすべてに答えなさい。問題ごとに別の解答用紙を用いること。

問題1 義務教育においては、教科書を国家が指定する制度、国家が検定する制度、および国家が指定も検定もしない可能性がある、この三つのメリットとデメリットを論じなさい。なお、複数の科目について述べること。

問題2 移民や戦争による難民が増える現代において、社会がこれらの人々を受け入れるためには、教育制度はどのように対応すべきか。